

Ecoドライブ機能を使う

ecoドライブ機能とは

急加速・急減速・アイドリング・速度の情報をもとに、環境に優しい「エコドライブ」ができていかどうか診断します。

お知らせ

- ドライブ診断の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

ecoドライブを開始する

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **情報**

▶ **ecoドライブ** を選ぶ

2 ecoドライブ画面から
ecoドライブ開始 を選ぶ



- ecoドライブの診断を開始します。



- 1 総合評価
- 2 診断結果
- 3 ecoドライブ中止

総合評価

- 診断結果をもとに、ecoドライブの総合評価がA(最高)～E(最低)の5段階で表示されます。

ecoドライブを中止する

ecoドライブ画面から
ecoドライブ中止 を選ぶ

- ecoドライブの診断を中止します。

診断結果

エコマーク(♻️)が多いほど高評価です。
(「♻️」が最高)

- 急加速：急加速を行うと、エコマークが減少
- 急減速：急減速を行うと、エコマークが減少
- アイドリング：長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- eco速度：高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ

- ecoドライブ画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジンOFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- 探索条件(P.40)を「eco」にして探索したルートを行走しても、道路条件や運転のしかたで、ecoドライブの診断結果が悪くなる場合があります。
- 日付が変わり、本機の電源をOFFにした時点で、診断結果はリセットされます。

地図更新について

無料地図更新サービス (Webダウンロード限定)

パソコンで地図更新アプリを使用し、地図データをダウンロードしてください。
無料地図更新のご利用には、ユーザー登録が必要となります。

<https://panasonic.jp/car/navi/freemap/>

※インターネットを利用できる環境が必要です。詳しくは、当社サイトをご覧ください。
(通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。)

※対応OSはWindowsのみです。

【有効期間】2020年8月下旬～2022年12月10日まで(予定)

期間内に下記いずれかの1回限り、全地図更新できます。

- 2020年8月下旬～2021年8月中旬：2020年8月版
- 2021年8月下旬～2022年8月中旬：2021年8月版
- 2022年8月下旬～2022年12月中旬：2022年8月版

※更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。

※上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。

(発売時期・販売方法については、決定しだい当社サイトにてご案内いたします。)

■ 更新内容

- 道路地図(縮尺50m～250km) ※細街路含む。
- 案内画像(リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など)
- 音声案内
- 地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)
- 逆走検知データ
- 市街地図

■ ご利用の流れ

準備(初回のみ)

- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。



1 地図SDHCメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する

2 地図更新アプリを起動し、専用サイトから地図データをダウンロードして地図SDHCメモリーカードに保存する

3 地図更新が完了したら、地図SDHCメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する

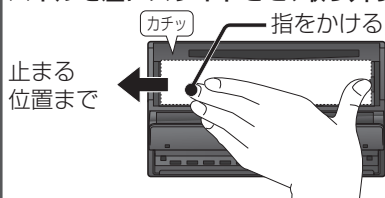
地図SDHCメモリーカードの出し入れ

取り出しかた

1 **TILT** を押し、**OPEN** を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

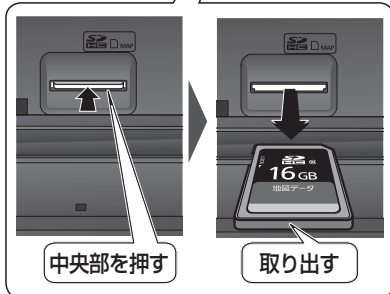
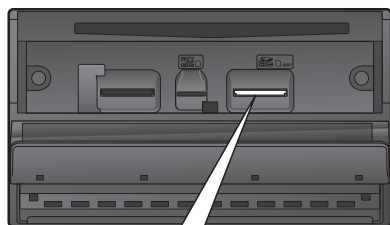
2 パネルを左にスライドさせ、取り外す



3 車のエンジンを切る (ACCをOFFにする)

- ディスプレイが開いたまま、電源が切れます。

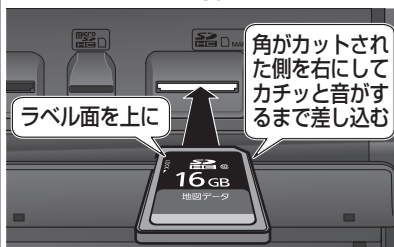
4 地図SDHCメモリーカードを取り出す



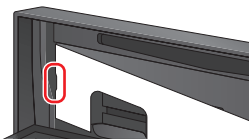
そのまま地図更新を行ってください。

挿入のしかた

1 左記手順3の状態、地図SDHCメモリーカードを挿入する

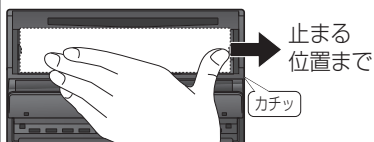


2 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



- パネル裏面の突起を、本体の孔にのみ合わせてください。

3 パネルを右にスライドさせ、取り付け



4 ディスプレイを閉める

1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

2 **確認** を選び、**TILT** を押し

- ディスプレイが閉まります。

お知らせ

- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉まりません。

後席用モニターと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像 (TV)、Blu-ray Disc*1、DVD、VTR*2、SD(動画)、USB(動画)) を、後席用モニターに表示できます。

準備

- 後席用モニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える (P.42)

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [MAP]を押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

- * 1 後席用モニターをHDMI入力のモードに切り換えてください。(VTRでは視聴できません。)
- * 2 後席用モニターを映像入力(VTR)のモードに切り換えてください。(HDMIでは視聴できません。)

お願い

- 本機のHDMI出力端子と接続した後席用モニターは、本機のVTRの映像を見るとき以外は、映像入力モード(「ビデオ」など)には切り換えしないでください。本機でTVやHDMIの映像が見られなくなる場合があります。

お知らせ

- HDMI接続用中継ケーブルの抜き差しをしたり、後席用モニターの電源をOFF/ONすると、画面が乱れる場合があります。
- 本機のHDMI出力端子と映像出力コードは、必ず1台の後席用モニターに接続してください。別のモニターに接続しても、本機の映像を同時に複数のモニターで視聴することはできません。
- TVなど、後席モニター以外の機器を接続することは出来ません。

ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。




- ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。
- ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
 - ・ ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
 - ・ ETCカードを入れたままエンジンを止めた(ACCをOFFにした)とき

信号情報活用運転支援システム (TSPS)による情報提供サービス

道路上に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができる とき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき (信号通過支援)*1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤に変わると予測したとき (赤信号減速支援)*1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青に変わるのを待つとき (発進遅れ防止支援)		なし

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青に変わるとき（発進遅れ防止支援）		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

* 1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.90)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
 - 提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - 信号機の色が変わる直前するとき
 - 対象となる交差点までの距離が短いとき
 - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
 - 信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
 - 信号機の制御方式（押しボタン式、感応式など）により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供している訳ではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面を表示させ、画質を調整してください。
- ドライブレコーダー(CA-DRO3TD)を接続している場合、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

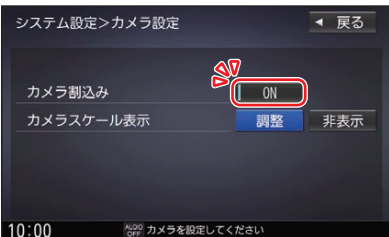
1 **MENU** を押し、**情報・設定**
▶ **システム設定** を選ぶ

2 **システム設定画面から** **その他設定**
を選ぶ

3 **カメラ設定** を選ぶ

4 カメラ割込みONを選ぶ

- カメラ設定がONになります。
[お買い上げ時の設定：OFF]

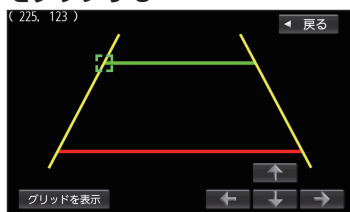


- 再度選ぶと、OFFになります。

5 カメラスケール表示の調整を選ぶ

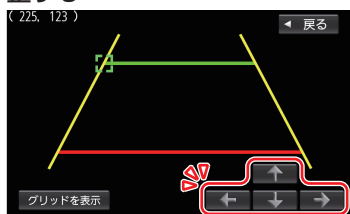
6 カメラスケールを調整する

1 カメラスケールの調整したい点をタッチする



- タッチした場所が□で表示されます。
- [MAP]を2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

2 ← → ↑ ↓ で位置を調整する



- **グリッドを表示**
調整の目安となるグリッドを表示します。

3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する

その他の外部機器と接続して使う

ビデオカメラやドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ビデオカメラと接続する

接続した入力モードに切り換えてください。

■ HDMIで接続している場合

オーディオメニュー(P.17)から**HDMI**を選ぶ

■ 映像・音声入力コードで接続している場合

オーディオメニュー(P.17)から**VTR**を選ぶ
●接続した機器の映像と音声が出力されます。

ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

後方確認する

- ドライブレコーダー(CA-DRO3TD)を接続している場合のみ本機能が使えます。

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダーリアカメラ」に設定してください。(P.87)

地図画面で📍を選ぶ

- ナビ画面がリアカメラの映像に切り換わります。



解除するには、画面をタッチしてください。

利用に応じた設定に変える

表示の設定をする



1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から**表示**を選ぶ

3 各項目を設定する



■ メイン画面用地図設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
地図モード (P.31)	「北向き」： ノースアップで表示する 「進行方向」： ヘディングアップで表示する 「3D」： 3D地図で表示する
3D視角調整	3Dの地図の傾きを設定します。 角度大：  角度小： 
吹き出しを表示 (P.21)	「する」： 高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」： 吹き出し表示しない
標高地図を表示	「する」： 広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」： 標高地図を表示しない
ダイレクトボタン	設定する を選ぶ 「ドライブレコーダー動画録画」： ドライブレコーダーの動画録画タッチキーを表示 「ドライブレコーダー静止画撮影」： ドライブレコーダーの静止画撮影タッチキーを表示 「ドライブレコーダーリアカメラ」： ドライブレコーダーのリアカメラタッチキーを表示 「表示しない」： ダイレクトボタンを表示しない

■ 右画面用地図設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
右画面に地図表示 (P.32)	「する」： 右画面に地図を表示する 「しない」： 右画面に地図を表示しない
名称の文字サイズ	「標準」： 右画面の地図の文字を大きくする 「小」： 右画面の地図の文字を小さくする
吹き出しを表示 (P.21)	「する」： 右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」： 右画面に吹き出し表示しない
標高地図を表示	「する」： 右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」： 右画面に標高地図を表示しない
地図モード (P.31)	「北向き」： 右画面をノースアップで表示する 「進行方向」： 右画面をヘディングアップで表示する 「3D」： 右画面を3D地図で表示する
3D視角調整	右画面の3Dの地図の傾きを設定する 角度大：  角度小： 

■ 地図色設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
昼夜切換	「時間連動」： 時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「昼」： 常に昼画面で表示する 「夜」： 常に夜画面で表示する 「スモール連動」： 車のスモールランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える
標高地図色	「季節連動」： 季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「春」： 常に春の地図色で表示する 「夏」： 常に夏の地図色で表示する 「秋」： 常に秋の地図色で表示する 「冬」： 常に冬の地図色で表示する 「標準」： 標準的な色彩の地図色で表示する

■ 情報バー表示設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
MAPCODEを表示 (P.22)	「する」： 情報バーにマップコードを表示する 「しない」： 情報バーにマップコードを表示しない
地図情報を表示	「住所名」： 情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」： 情報バーに現在地の道路の名称を表示する
AUDIO情報を表示 (P.22)	「する」： 情報バーにオーディオの情報を表示する 「しない」： 情報バーにオーディオの情報を表示しない
残距離/到着時刻を表示 (P.23)	「経由地」： 経由地までの残距離と到着予想時刻を表示する 「目的地」： 目的地までの残距離と到着予想時刻を表示する

■ その他設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
緯度・経度を表示 (P.22)	「する」： 地図モード画面に緯度・経度を表示する 「しない」： 緯度・経度を表示しない
冠水注意ポイント表示	「する」： 豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」： 冠水注意ポイントを表示しない
市街地図での冠水注意ポイント表示	「する」： 冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」： 市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
登録地を表示 (P.41)	「する」： 地図に登録地を表示する 「しない」： 地図に登録地を表示しない
時計表示 (P.22)	「する」： 時計を表示する 「しない」： 時計を表示しない 「映像中はしない」： オーディオがTV、Blu-ray Disc、DVD、SD(動画)、USB(動画)、VTR、HDMI、Drive P@ssのとき、時計を表示しない(他の画面では表示する) ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
デュアルウィンドウを表示 (P.32)	「する」： オーディオがTV、Blu-ray Disc、DVD、SD(動画)、USB(動画)、VTR、HDMI、Drive P@ssのとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「しない」： デュアルウィンドウ表示しない
50 m市街地図表示	「する」： 50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「しない」： 50 m縮尺のとき、広域地図で表示する
ランドマーク	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
ランドマーク表示	「する」： ランドマークを表示する 「しない」： ランドマークを表示しない

項目	設定内容
3D地図ビル表示 (P.33)	「する」: 3D地図でビルを立体表示する 「しない」: 3D地図でビルを立体表示しない
ゾーン30エリア表示 (P.33)	「する」: ゾーン30のエリアを表示する 「しない」: ゾーン30のエリアを表示しない
自転車位置 (通常は必要ありません)	自転車位置を修正できます。
走行軌跡	走行軌跡の記録、表示の設定、削除ができます。

案内の設定をする

1 [MENU] を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **案内** を選ぶ

3 各項目を設定する

■ 案内表示項目設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ルートの全表示	「する」: ルート探索後、全ルート図を表示する 「しない」: ルート探索後、全ルート図を表示しない
交差点情報の表示 (P.22)	「常時」: 常に交差点情報を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「しない」: 交差点情報を表示しない
ETCレーンの表示	「する」: ETCレーン案内を表示する 「しない」: ETCレーン案内を表示しない
JCTビューの表示	「する」: ジャンクションビューを表示する 「しない」: ジャンクションビューを表示しない
目的地方向を表示 (P.23)	「する」: 目的地方向を直線で表示する 「しない」: 目的地方向を表示しない
ルート情報の表示	「する」: ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「しない」: ルート情報を表示しない
ハイウェイモードの表示	● ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。 「する」: ハイウェイマップを表示する 「しない」: ハイウェイマップを表示しない
交差点拡大図の表示	「する」: 交差点拡大図を表示する 「しない」: 交差点拡大図を表示しない
リアル3D表示	「する」: 複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「しない」: リアル3D表示しない
方面看板の表示	「常時」: 常に方面看板を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ方面看板を表示する 「しない」: 方面看板を表示しない
逆走注意アラーム (P.25)	「する」: 逆走注意の案内を表示する 「しない」: 逆走注意の案内を表示しない
Audio画面中の案内割込み	「する」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「しない」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
デュアルウィンドウ中の案内割込み	「する」: 右画面にオーディオの映像を表示させた地図(デュアルウィンドウ)に割り込んでルート案内する 「しない」: デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない

項目	設定内容
EWS(緊急情報)の割り込み	「する」: TVのEWS(緊急情報)を受信したら、割り込み表示する 「しない」: EWS(緊急情報)の割り込み表示をしない

■ 案内音声項目設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
案内出力スピーカー	「左前」: 本機の案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」: 本機の案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
専用レーン案内	「する」: ルート案内中に右左折専用レーンがある場合、案内する 「しない」: 専用レーン案内しない
案内音量の車速連動	「する」: 車速に連動して、音量を自動的に上げる 「しない」: 車速に関わらず音量は一定となる
案内時のAudio音量消音	「する」: ナビ音声案内時に音声出力スピーカーからのオーディオ音声が消音される 「しない」: ナビ音声案内時に音声出力スピーカーからのオーディオ音声が消音されない ※ 設定にかかわらず、ナビ音声案内時にスピーカーからのオーディオ音量は下がります。
VICS案内	「する」: ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「しない」: 渋滞/規制情報を音声で案内しない
休憩メッセージ案内	「する」: ルート案内中に長時間経過すると、休憩を促す音声案内を行う 「しない」: 休憩メッセージ案内しない
トンネル出口案内	「する」: トンネル出口の情報がある場合、ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内する 「しない」: トンネル出口案内しない

■ 信号情報活用運転支援設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「する」: 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「しない」: 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない(信号情報を受信しない)
赤信号減速支援* ¹	「する」: 前方の信号機が赤に変わると予測したことをアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
信号通過支援* ¹	「する」: 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
発進遅れ防止支援* ¹	「する」: 前方の信号機が青に変わるまでの残り時間をアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
支援音声ガイド* ¹	「する」: 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援の情報を音声で案内する 「しない」: 音声で案内しない

* 1 「光ビーコンアップリンク」が「する」の場合のみ設定できます。

探索条件の設定をする

1 [MENU]を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から**探索**を選ぶ

3 各項目を設定する

■ 詳細条件

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
自動再探索	「する」： ルートから外れた道を行くと自動的に再探索する 「しない」： 自動再探索しない
フェリーを優先	「する」： フェリー航路を優先して通るルートを探査する 「しない」： フェリー航路を優先して通るルートを探査しない
時間規制道路を考慮	「する」： 時間規制を考慮したルートを探査する 「しない」： 道路の時間規制を考慮しない
VICS自動再探索*1	「する」： VICS情報を考慮して、ルートを自動的に再探索する 「しない」： VICS自動再探索しない
新旧ルート比較画面を表示	「する」： 曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」： 新旧ルート比較画面を表示しない
到着予想	「自動」： VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」： 一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する 「手動」を選んだ場合、<input type="checkbox"/>/<input type="checkbox"/>で設定する ●一般道： 5～ 50 ～60 km/h ●国道： 5～ 65 ～80 km/h ●有料道路： 5～ 80 ～100 km/h

*1 ストラダチューン(ルート)で、VICS考慮「しない」に設定されている場合は、選択できません。(P.27)

渋滞情報(VICS)の設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **渋滞情報** を選ぶ

3 各項目を設定する

■ ビーコン割込み設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ビーコン受信音	「する」： 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」： 情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「する」： 情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」： 情報が自動的に表示されない

■ 渋滞情報保存時間設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
渋滞情報保存時間設定	渋滞情報を保存する時間(15分/30分/ 1時間 /2時間)を設定します。

■ ETC2.0設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC2.0受信音	「する」： 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」： 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「する」： 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」： 一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「する」： 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「しない」： 情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「する」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「しない」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETCの設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **ETC** を選ぶ

3 各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC音声ガイド	「する」： 利用料金などを、本機から音声で案内する 「しない」： ETC音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内	「する」： 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内される*1 「しない」： カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「する」： 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内される*1 「しない」： カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC音声ガイドを「しない」に設定しても案内されます。

BLUETOOTHの設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **BLUETOOTH** を選ぶ

3 ハンズフリー画面から **機器設定** を選ぶ

4 各項目を設定する

■ BLUETOOTH

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
BLUETOOTH (P.70)	「する」： BLUETOOTH接続する 「しない」： BLUETOOTH接続しない
接続確認案内	「する」： BLUETOOTH対応機器が接続されたときに案内する 「しない」： BLUETOOTH対応機器が接続されたときに案内しない

システムの設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **システム設定** を選ぶ

2 各項目を設定する

■ セキュリティ

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
セキュリティ設定 (P.20)	「する」： セキュリティ設定をする 「しない」： セキュリティ設定をしない
盗難多発地点 音声案内 (P.12)	「する」： 盗難多発地点を音声で案内する 「しない」： 盗難多発地点を音声で案内しない
盗難多発地点 表示案内 (P.21)	「する」： 盗難多発地点を表示で案内する 「しない」： 盗難多発地点を表示で案内しない
市街地図での盗難多発地点表示案内 (P.21)	「する」： 市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」： 市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
iPod 抜き忘れ案内 (P.12)	「する」： iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」： iPodの抜き忘れ案内をしない

■ ユーザーカスタマイズ

項目	設定内容
ユーザーカスタマイズ (P.15)	ユーザーごとに各設定を記憶させることができます。

■ 画質調整

項目	設定内容
画質調整のしかた	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。

■ キー操作音

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
キー操作音	「する」： キー操作音を鳴らす 「しない」： キー操作音を鳴らさない

■ ステアリングスイッチ

項目	設定内容
ステアリングスイッチ	取付説明書をご覧ください。

■ その他設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
車種設定 (P.14)	有料道路の料金をどの車種で計算するかを設定できます。
車両メンテナンス	車両メンテナンス情報を設定できます。
カメラ設定 (P.85)	リアビューカメラの設定ができます。
バージョンアップ	本機のソフトウェアをバージョンアップする場合に使用します。
初期化 (P.94)	各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 **MENU** を押し、**情報・設定 ▶ システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **初期化** を選ぶ

4 **はい** を選ぶ

5 **はい ▶ はい** を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化(削除)した項目は、もとに戻せません。
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

6 初期化が完了したら、車のエンジンを止め (ACC OFF)、約 10 秒間放置してから、再度車のエンジンをかける (ACC ON)

- 本機が再起動します。

項目	設定内容
SDカードの初期化	SDメモリーカードを初期化する (NTFSファイルシステムは初期化できません) ● 録音した音楽データも削除されます。
登録データの初期化	登録・設定した内容 (登録地・登録ルートなど) を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。

お願い

- 初期化中は他の操作 (オーディオを切り換えるなど) をしないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- 録音データの初期化はMEMORY MUSIC再生画面 (P.59) から **情報 ▶ 録音データ初期化** を選んでください。
- Gracenoteデータベースの初期化はオーディオチューン画面から **gracenote ▶ 初期化** を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報 (登録地の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。

- 他人への譲渡または処分などされる際は、**MENU** を押し、**情報・設定 ▶ 情報 ▶ 車両信号情報 ▶ センサー学習値初期化** を選んでセンサー学習値を初期化してください。
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - CD再生モード
 - FM/AM
 - 交通情報
 - オーディオチューン (車速連動音量以外)
 - 音量調整
 - 映像調整
 - 画質調整

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ [MAP]を押してください。(P.22)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態です。 (フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- **GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。** (取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ [MENU]を押し、**情報・設定 ▶ 情報 ▶ 車両信号情報**を選んで学習レベルを確認してください。学習レベルが1の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- **GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。** (取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
→ **GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。** (取付説明書)
- 本機を別の車に乗せかえた。タイヤをローテーションした。
→ センサー学習値の初期化を行ってください。

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→ 地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で**詳細 / 広域**を選び、縮尺を切り換えてください。(P.30)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→ 汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。
→ 正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/navi/>

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

■ 動作

内 容	ページ
電源が入らない	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	(P.12)
低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
電源が落ちる	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11V 以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11V 以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
本機が動作しない	
地図 SDHC メモリーカードが正しく挿入されていない。 ● 地図 SDHC メモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	(P.83)
他の機器で使用した地図 SDHC メモリーカードが挿入されている。 ● 地図 SDHC メモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。地図 SDHC メモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	—
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
ディスプレイの上下角度が調整できない	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
ディスプレイが閉まらない	
地図 SDHC メモリーカードを出し入れした際、パネルが正しく取り付けられていない。 ● パネルの取り付けを確認してください。	(P.83)
タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	—
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
ステアリングスイッチが正しく動作しない	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、完了を選んで設定を完了してください。	取付説明書

内 容	ページ
本機が温かくなる	
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。 ● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	(P.94、P.118) —

■ 画面／映像

内 容	ページ
映像が暗い／白っぽい／色あいが悪い／色が薄い	
画質調整が適切でない。 ● [MAP]を2秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	—
画面に赤、青または緑の点が表示される	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示されない／ナビゲーションの映像が表示されない	
オーディオがHDMI/VTRになっている。 ● 他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI/VTR以外の画面を表示させてください。	(P.42)
一時的に画面を消している(画面OFF) ● [AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
電源コネクタのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。	取付説明書
音声は出るが、映像が出ない	
一時的に画面を消している(画面OFF) ● [AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
パーキングブレーキをかけていない。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書

■ 音声

内 容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
FADE/BALANCEの設定を確認してください。	—
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
Blu-ray Disc・DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.117)
iPod・携帯電話・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
本機の取り付けを確認してください。 ● 角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書

内 容	ページ
雑音が出る	
携帯電話などを本機から離してください。	—
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書

ナビゲーション

■ 案内

内 容	ページ
音声案内されない/オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ●ナビ案内音量の設定を調整してください。	(P.13)
ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	(P.22) —
自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	(P.91)
ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	(P.23) —
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
ルート案内中に料金案内されない	
ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内する	
地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーメニューから、 道路切換 を選んでください。	—
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	(P.40)

■ 動作

内 容	ページ
登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが削除された	
操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再度操作してください。	—
戻る を選んでも、前の画面に戻らない	
画面によっては、 戻る を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—

内 容	ページ
地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—

■ 表示

内 容	ページ
VICS情報が表示されない(FM VICS)	
VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	—
FMの電波が弱い。 ●障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ●電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— —
地図情報の保持時間が過ぎた。 ●新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
VICSのサービス外の地図を表示している。 ●VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
モーターアンテナ設定がONの状態、AUDIO OFFに切り換えると、VICS情報を受信できません。 ●AUDIO ONに切り換えてください。	(P.14、 P.43)
ラジオアンテナの接続を確認してください。	取付説明書
VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0)※別売のETC2.0車載器が必要です。	
ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ●アンテナの上に物を置かないでください。 ●極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ● 取り付け位置や接続を確認してください。	— — 取付説明書
電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
TSPSアイコンが表示されない※別売のTSPS対応ETC2.0車載器が必要です。	
路側装置の機器メンテナンス作業や故障などにより、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。	—
対象交差点の地図データがないときはTSPSアイコンは表示されません。	—

オーディオ [TV]

■ 映像/音声

内 容	ページ
映像も、音声も出ない	
本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
受信状態が悪い。 ●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出ない	
ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—

内 容	ページ
映像や音声(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	
車のある場所や方向により受信状態が変化します。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがあります。故障ではありません。	—
車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	—
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ●ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	—
フロントガラスに車載カメラ装置(自動ブレーキシステムやドライブレコーダーなど)が装備されている場合は、カメラから地上デジタルアンテナを離して取り付けてください。	取付説明書
地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

オーディオ [FM/AM]

■ 動作

内 容	ページ
エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	—

■ 音声

内 容	ページ
ラジオが受信できない/ノイズが多い	
放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	(P.46)
ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	(P.46)
ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
●ラジオアンテナおよび、オートアンテナコントロールコードの接続・設定を確認してください。 ●ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。	取付説明書

オーディオ [Blu-ray Disc] [DVD]

■ 動作

内 容	ページ
タッチパネルを操作しても、動作しない	
ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	—
BD-Jディスクは、メニュー画面を直接タッチして項目を選択できません。 ●カーソルで項目を選んでください。	(P.50)
設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ●トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
設定した字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ●トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
再生操作タッチキーから 設定 ▶ 言語設定 を選び、メニュー言語の設定を確認してください。	—
ディスクを挿入しても再生できない	
ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	(P.47)
再生できるディスクを使用してください。	(P.114)
ディスク挿入後、またはBlu-ray Disc/DVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—
ディスクが排出されない	
録音中などの場合、ディスクが排出できない場合があります。 ●時間をおいて、再度 [▲] を押してください。	—
ディスクを挿入できない	
すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとしている。 ●挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—

■ 音声

内 容	ページ
再生中に小さい音が聞き取りにくい	
再生操作タッチキーから 設定 ▶ ダイナミックレンジ圧縮 を選び、「ON」に設定してください。	—
Blu-ray Disc/DVD再生の音量が小さい	
音楽CDとBlu-ray Disc/DVDの録音レベルには差があります。 ●Blu-ray Disc/DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	(P.13)
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.117)
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

■ 動作

内 容	ページ
再生するまで時間がかかる	
記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
順番どおりに再生されない	
書き込んだ順番に再生されます。 ●再生したい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —
再生できない	
本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	(P.114、P.118) —
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	(P.119)
ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	(P.119)
ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ●MP3 ファイル：拡張子「mp3(MP3)」 ●WMA ファイル：拡張子「wma(WMA)」 ●AACファイル：拡張子「m4a(M4A)」	— — —

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.117)
音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	—
低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—

■ 表示

内 容	ページ
ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	
規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	(P.119)
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
再生経過時間の表示が実際と一致していない	
再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

■ 録音

内 容	ページ
録音設定の切り換えができない	
録音中の場合は、録音を停止してください。	(P.57)
音楽CDを再生しても、自動で録音されない	
録音設定が 手動録音 に設定されている。 ●録音設定を 自動録音 に設定してください。	(P.57)
MP3/WMAファイルを再生している。 ●MP3/WMAは録音できません。	—
録音できない	
ディスクにキズが付いていると、録音できません。 ●ディスクにキズが無いかご確認ください。	(P.117)
録音済みのディスクである。 ●1曲でも録音済みのディスクは自動で録音しません。手動で録音してください。	(P.57)
録音中に車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替えてエンジンを始動した。 ●別のSDカードに交換して使用してください。(録音中のエンジン始動の影響などでSDカードが壊れている可能性があります。)	—
SDカードの容量が不足している。 ●使用状況を確認してください。録音済みの曲を消去すると新たに録音できます。	—
SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ●「LOCK」を解除してください。	—
本機でSDカードに録音した曲ファイルのフォルダ名やファイル名などをパソコンなどで変更した。 ●別のSDカードに交換して使用してください。	—
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない、または止まる	
再生選択画面で再生しない設定にしている。(✓印を消している) ●✓印を付けてください。	—
再生管理データが読み取れていない。 ●別のSDカードに交換して使用してください。(録音中のエンジン始動の影響などでSDカードが壊れている可能性があります。)	—

■ 動作

内 容	ページ
CDから録音した曲が再生されない	
曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	—
SDメモリーカードが破損している、またはSD規格に準拠したカードではない。 ●他のSDメモリーカードで再生ができるか、ご確認ください。	—
録音したはずの曲が再生されないまたは止まる	
録音曲数が多い。 ●曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
SDソースを選んでいる。 ●本機で録音した曲を再生する際は、MEMORY MUSICソースを選んでください。	—

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	— (P.94、P.118)

■ 表示

内 容	ページ
録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない	
新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	(P.60)

オーディオ [iPod]

■ 動作

内 容	ページ
iPodが正しく動作しない	
iPodが正しく認識されていない。 ●接続を確認してください。 ●iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
Lightning コネクタを持つiPod/iPhoneを接続している。 ●Lightning-USBケーブルによる接続では、Drive P@ss とiPodを同時に利用することはできません。配線を変えてください。	(P.67)
iPodのバージョンが古い。 ●iPodのバージョンを確認してください。	—

BLUETOOTH

■ 登録

内 容	ページ
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない	
本機のBLUETOOTH接続が「しない」になっている。 ● 本機のBLUETOOTH接続を「する」に設定してください。	(P.92)
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ● BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応したBLUETOOTH Audio機器を登録してください。	—
HFP (Hands-Free Profile) に対応した携帯電話を登録してください。	—
BLUETOOTH対応機器のファームウェア(ソフトウェア)を最新にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称 (Strada) を選択しても、本機を登録できない	
デバイスアドレスが本機のもの異なる。 ● 本機と同じ名称の、別の機器が選択されています。本体情報画面でデバイスアドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じデバイス機器アドレスの機器を選んで登録してください。	(P.70)

■ 接続

内 容	ページ
「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか?」と音声案内される (接続設定されている携帯電話に接続できない)	
接続確認案内の設定が「する」になっている場合に、音声案内されます。 ● 携帯電話のBLUETOOTH機能を有効にしてください。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。 ● 接続設定されている携帯電話を使用しない場合には、接続を解除してください。	— — (P.72)
本機に接続できない	
BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	(P.70)
携帯電話がHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していても本機に登録される場合があります。)	—
携帯電話がSPP (Serial Port Profile) に対応していないとスマホ連携接続できません。	—
携帯電話の受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—

内 容	ページ
<p>自動的にペアリング情報が削除された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。 	(P.71)
<p>自動接続が完了していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。 	-
<p>本機のBLUETOOTH接続が「しない」になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機のBLUETOOTH接続を「する」に設定してください。 	(P.92)
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
<p>BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。</p>	-
<p>BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。 	-
<p>BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 	(P.71)
<ul style="list-style-type: none"> ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。 	(P.71)
<p>BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要な場合があります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。 	-
<p>本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。 	(P.123) -
<p>BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。</p>	-
<p>BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。</p>	-
<p>BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。</p>	-
<p>BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。 	- (P.71)
<p>携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態になっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。 	-
<p>BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換え、本機から手動で接続してください。 	(P.72)
<p>携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。 	-

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音がひずむ・ノイズが発生する)	
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。	(P.123)
● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	—
携帯電話の受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	—

■ スマートフォン連携

内 容	ページ
Drive P@ss、NaviCon®のデータを本機で取得できない	
スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH接続状態を確認してください。	—
● 本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。	(P.72)
● スマホ連携接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	(P.72)
iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—
Drive P@ss、NaviCon®を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	(P.72)
スマホ連携の接続が完了しない	
接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	(P.72)
スマホ連携の切断が完了しない	
スマートフォンを操作して切断してください。	—
Drive P@ssが正しく動作しない	
Drive P@ssがダウンロードされていない。 ● Drive P@ssの利用には、スマートフォンへDrive P@ssのダウンロードが必要です。	(P.75)
本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。	(P.72)
ケーブルの接続を確認してください。	(P.76)
スマートフォンのDrive P@ssが起動されていることを確認してください。	—
オーディオのHDMIの画面では、Drive P@ssの操作はできません。 本機でDrive P@ssを起動させてください。	(P.77)

■ ハンズフリー通話

内 容	ページ
本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない	
通話が携帯電話に切り換わっている。 ● ハンズフリー切換 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.74)
携帯電話のサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	-
BLUETOOTHによる接続がされていない。 ● 再度接続してください。	(P.71)
携帯電話がマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出来ない場合があります。マナーモードを解除してください。	-
発着信時に相手の名前が表示されない	
携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ● 電話帳を本機に登録してください。	-
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
受話音量を下げてください。	(P.74)
通話中、相手の音声聞き取りにくい	
自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	-
受話音量を上げてください。	(P.74)
着信履歴から発信できない	
番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	-
国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	-
携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	-
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話してください。	-
エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	-
携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/本機と接続中、携帯電話で通話できない	
機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	-
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	-
電話帳転送ができない	
携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。(機種によっては、OPPIに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	-

■ BLUETOOTH Audio

内 容	ページ
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	
● BLUETOOTH Audio機器がAVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile) に対応していない。	—
● AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
音量が小さい	
BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—
音質が悪い(音がひずむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように)	—
「電話1」「電話2」「スマホ連携」に設定された携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。(例：電源がOFFになっている) ● 対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の接続設定を解除してください。	(P.71)

■ その他

内 容	ページ
(P.105～P.109) の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある	
● いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
● いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
● 機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	(P.71)
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

音声認識

■ 動作

内 容	ページ
音声認識を利用できない	
● スマートフォンにDrive P@ssをインストールして、本機と接続してください。	(P.72、P.76)
● 接続したスマートフォンのロックを解除してください。	—
● スマートフォンをWi-Fi®で接続している場合は、携帯電話回線に切り換えてください。	—
● スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。	—
● Drive P@ss以外のアプリを起動している場合は、終了してください。	—
● スマートフォンにDrive P@ss画面が表示されているか確認してください。	—
サーバーへの接続が失敗する	
スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。	—
● 場所を移動して、電波状況の良い場所でお使いください。	—
● しばらくしてから接続を行ってください。	—
● Wi-Fi機器を利用して接続する場合、音声が入り切れたり、通信が切断される場合があります。	—

内 容	ページ
誤認識が多い	
<ul style="list-style-type: none"> ●車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。 ●マイクは発声する人の口元に向けて20 cm～40 cm離してください。 ●効果音が鳴ってから、続けて発声してください。 	(P.78) 取付説明書 —
音声認識に失敗する	
<ul style="list-style-type: none"> ●声小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。 ●マイクの接続を確認してください。 	(P.78) 取付説明書
音声が出力されない	
本機またはスマートフォンの音量が小さい場合は、音量を調整してください。	(P.13)

こんなメッセージが出たときは

■ か

内 容
高温のため、動作を停止しています。エアコンをかけ車内の温度を下げてから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。
本機の内部温度が異常に高い。 ●内部温度が下がるまでお待ちください。
この画像は表示できません。表示可能サイズを超えているか、不正な画像ファイルです。
再生できない形式の静止画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
この曲は対応していない形式のため再生できません。
再生できない形式の音楽データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
このファイルは対応していない形式のため再生できません。
再生できない形式の動画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。SDカードを確認してください。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

内 容
再生可能なディスクを入れてください。
ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ●ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ●ディスクにキズが付いている。
再生できないディスクを使用している。(P.116) ●ディスクを確認してください。
再生可能なファイルがありません。
異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
再生できるファイルがない。 ●再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。車速信号コードの接続をご確認ください。
車速信号コードの接続を確認してください。それでも改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ● サイドブレーキコードの接続を確認してください。
受信できません (0020)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。 ●受信できる場所に移動してください。
受信できません (E202)
地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。 ●視聴できるチャンネルを選んでください。
受信できません (E203)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 ●受信できる場所に移動してください。
放送休止のチャンネルを見ている。 ●受信できる場所に移動してください。
情報を受信していません。
VICS情報が無い。 ●FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。
走行中はスクロールできません。
市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ● サイドブレーキコードの接続を確認してください。

■ た

内 容
● 地図カードを挿入してください。 ● 地図カードがありません。
地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。
地図データ異常により正常に起動できませんでした。
地図SDHCメモリーカードに異常がある。 ● お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。
地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。
データがいっぱいになりました。XX件 転送されました。
アドレス帳を、最大保存可能件数(1 500件)まで保存した。 ● これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
電源を入れ直してください。
アンプに異常が発生した。 ● いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。
ドライブレコーダーと正しく接続されていない。 ● ドライブレコーダーとの接続を確認してください。

■ は

内 容
配線の不良または機器の故障の可能性があります。お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
正しく配線されていない。 ● 配線を確認してください。
本機が故障している。 ● お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。
DC24 V車に取り付けている。 ● ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。
本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
ケーブルが金属物に触れている ● 金属物から離してください。
接続している機器やケーブル(iPod/USB接続用中継ケーブル、およびUSBケーブル)に異常がないことを確認してください。 ● それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。
本機は12 V車専用です。24 V車には使用できません。事故・故障の原因となります。使用中止し、本機を取り外してください。
DC24 V車に取り付けている。 ● ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。

■ ら

内 容
ルート探索ができません。
極端に長い道のりのルートを探索しようとした。 ● 目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探索してください。
録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。
SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ● 不要な音楽データを削除してください。
録音できませんでした。SDカードを確認し、もう一度録音してください。
SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ● SDメモリーカードを本機に挿入してください。

■ B

内 容
BDデータを保存できませんでした。
microSDメモリーカードに異常がある。 ● microSDメモリーカードを、本機のSDメモリーカード挿入口に挿入し、SDカードの初期化を行ってください。このとき、SDカードアダプターが必要です。

■ S

内 容
SDカードが書き込み禁止になっています。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ 記号

内 容
⊘
ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
● 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット								
	BDMV	BDAV	AVCHD *3	AVCREC *3	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *4	WMA *4
Blu-ray	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/ RE	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/ RW *1	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/ RW *2	—	—	—	—	—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。

* 4 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

Blu-ray Discについて

- パスワード確認入力画面が表示されるディスクを再生する場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- BD-Live(BDライブ)対応ディスクは、BDライブ対応コンテンツ部分の再生はできません。
- Blu-ray 3Dディスクは、3D再生ではなく2D再生となります。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

Cinaviaの通告

- この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
- Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com>のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
- この製品はVerance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
- CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
- すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。


BD-R/RE・DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のBlu-ray Disc、DVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク(CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど)は、正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- BD-RE、DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョンコード/リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のBlu-rayのリージョンコードは、「A」です。

「A」(Aを含むもの)が表示されている、ディスクが再生できます。

- 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。

「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数




■ 画面サイズ(横:縦の比)


映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

4:3の標準サイズ 

レターボックス 

16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。 

画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。 

再生できないディスク

- 8 cmディスク*1
 - NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
 - ファイナライズされていないDVD-R/RW
 - クローズセッションされていないCD-R/RW
 - Ultra HD Blu-ray
 - BDXL
 - カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
 - BD-ROM
 - DVD-ROM
 - DVD+R
 - DVD+RW
 - DVDオーディオ
 - DVD-RAM
 - CD-ROM
 - フォトCD
 - CD-G
 - ビデオCD
 - CDV
 - SVCD
 - SACD
 - CD-EXTRA*2
 - VSD
 - CVD
 - DualDisc*3
 - HD DVD-Video
 - HD DVD-R
 - HD DVD-RW
 - HD DVD-ROM
 - HD DVD-RAM
 - DIVX Videoディスク など
- *1 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- *2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。
- *3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

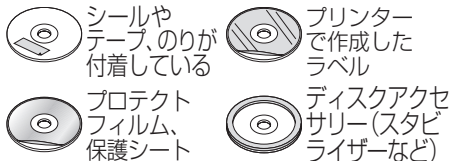
長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

使用できないディスクについて

下記のディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



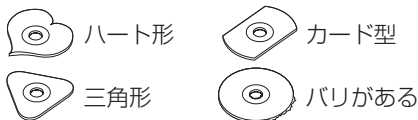
破損・変形したディスク



透明なディスク



円形以外の特殊な形状のディスク



SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■ 本機で利用できるSDメモリーカード

※ 本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下) *1
- SDHCメモリーカード(32 GB以下) *1
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下) *1 *2
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下) *1 *2
- microSDメモリーカード(2 GB以下) *2
- miniSDメモリーカード(2 GB以下) *2

* 1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

* 2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごとに取り出してください。

■ SDメモリーカードを使用する前に

- 本機で初期化してください。(P.94) または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■ 本機で利用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量: 32 GB以下
- ファイルシステム: FAT16, FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0 (12 Mbps)

- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・ SDメモリーカードを取り出す
 - ・ USBメモリーを取り外す
 - ・ 機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

ファイル形式	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R/RW、SD、USB	CD-R/RW、SD、USB	SD、USB
対応規格バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version 7/8/9 ※ Stantard のみ	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名/ファイル名文字数	CD-R/RW：全角 32 文字 / 半角 32 文字 SD、USB：全角 32 文字 / 半角 64 文字		
フォルダ名/ファイル名使用可能文字	A～Z (全角 / 半角)、0～9 (全角 / 半角)、_ (アンダースコア)、全角漢字 (JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)		
最大フォルダ階層	8 階層		
1 フォルダ内の最大ファイル数	255 (ファイル + フォルダ数：ルートフォルダ含む)		
1 メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW：512 (MP3・WMA ファイル合計)		—
	SD、USB：10 000 (MP3・WMA・AAC ファイル合計)		
1 メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW：255		—
	SD、USB：400		
表示可能なタグ	CD-R/RW： トラック名 / アーティスト名 / アルバム名		—
	SD、USB：トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名		
タグ表示可能文字数	CD-R/RW： ID3 タグ Ver 1.0/1.1： 全角 15 文字 / 半角 30 文字 ID3 タグ Ver 2.2/2.3： 全角 30 文字 / 半角 60 文字	CD-R/RW： 全角 30 文字 / 半角 30 文字	—
	SD、USB： ID3 タグ Ver 1.0/1.1： ID3 タグ Ver 2.2/2.3： 全角 32 文字 / 半角 64 文字	SD、USB： 全角 32 文字 / 半角 64 文字	
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz
ビットレート (kbps)	8 kbps ~ 320 kbps、 VBR	48 kbps ~ 320 kbps、 VBR	8 kbps ~ 320 kbps
ジャケット写真	CD-R/RW：非対応		—
	SD、USB：対応		

- m3u/MP3i フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- WMA Professional/WMA Lossless/WMA Voice には対応していません。
- DRM (デジタル著作権管理) には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio 規格など) は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3 タグバージョン 1、バージョン 2 が混在する MP3 ファイルの場合、バージョン 2 のタグを優先します。

お知らせ

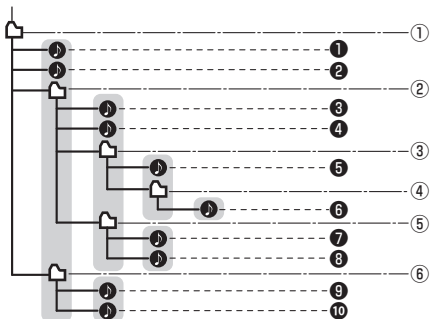
- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル)、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

階層と再生順序について



ルートフォルダ

(CD-R/RW、SDメモリーカード、USBメモリーの直下の階層)



同じ階層(■で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ換えて再生します。(下記)



[CD-R/RWのMP3/WMAの場合]

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ換えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①～⑩の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■ 本機で再生できる画像データ

項目	内容	
対応形式	JPEG (ベースライン)	
拡張子	JPG、jpg (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1フォルダ内	255 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A～Z (全角/半角)、0～9 (全角/半角)、_ (アンダースコア)、漢字 (JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角/半角)	
ファイルサイズ	10 MB 以下	
画像解像度	16 × 16 ～ 4 092 × 4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。
- 以下のようなファイルは再生できません。
 - ・プログレッシブ方式
 - ・RGB以外 (グレースケール、CMYKなど)

- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。

※ 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番 (名前順) などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。

ジャケット写真について

JPEG形式のみに対応しています。

他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176 × 176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■ 本機で再生できる動画データ

項目	内容	
対応規格 プロファイル	MPEG-4 (Advanced Simple Profile レベル 5 まで、Simple Profile レベル 6 まで)、H.264 (High Profile レベル 3.1 まで、Main Profile レベル 3.1 まで、Baseline Profile レベル 3.1 まで)	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
	映像	音声
コーデック	MPEG-4、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps ~ 30 Mbps	8 kbps ~ 320 kbps
フレームレート	30 fps	—
最大解像度	1280 × 720	—
サンプリング周波数	—	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8 階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1 フォルダ内	100 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角 32 文字 (全角 16 文字)	
使用可能文字	A ~ Z (全角 / 半角)、0 ~ 9 (全角 / 半角)、_ (アンダースコア)、漢字 (JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)	
ファイルサイズ	4 GB 以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。
そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかつたり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかつたり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)があります。

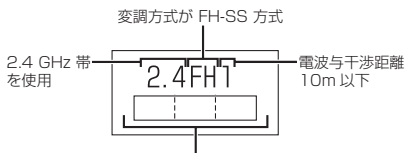
- BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。(P.145)

■ 機器設定(無線局の免許は不要です。)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 周波数表示の見方(製品銘板に記載)



2.402 GHz ~ 2.480 GHzの全域帯を使用

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - 電話帳転送
 - Object Push Profile (OPP) または Phone Book Access Profile (PBAP)
 - 「Drive P@ss」/「NaviCon®」/「CarAV remote」
 - Serial Port Profile (SPP)
 - 音声認識
 - Serial Port Profile (SPP) Hands-Free Profile (HFP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

■ GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所 (GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所) で、2分程度で測位します。電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



走行中の道路を誤って認識したとき (道路切換)

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を取り違えることがあります。(例えば、自転車が高速道路を走行中なのに自転車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など) このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

準備

- ランチャーメニューに「道路切換」が表示されるように設定してください。(P.26)

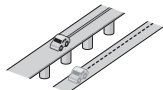
ランチャーメニューから道路切換を選ぶ

- 自転車位置の道路 (高速道路 / 一般道路) を切り換えて再探索されます。
- 道路切換は、隣接する並行な道路を対象としています。

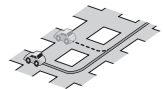
自車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

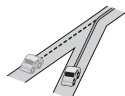
- 高速道路と一般道路が近くにある



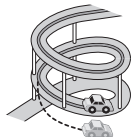
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき

- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき
- (車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため)駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走警告について

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走警告が表示された地点で「ここでは案内しない」を選んでいた場合

■ 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- 探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものと違う場合があります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■ **本機に登録されている個人名について**
登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例:「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■ **電波ビーコン5.8 GHzの受信について**
下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走

- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■ FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■ 光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進出したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約: 当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者: 当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス: 文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス: 簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス: 車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事にやむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】

視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー	36
頭出し	50、53
アルバム	59
アングル	51、52
安全・安心運転サポート	23、24
案内音声項目設定	90
案内音量の車速連動	90
案内時のAudio音量消音	90
案内出力スピーカー	90
案内スタート	37、37
案内ストップ	37
案内表示項目設定	89
案内ルート	23
一時停止	49、52、56、66、68
一時停止案内	28
一般道	29
一般道速度超過警告	28
緯度・経度	22
緯度・経度を表示	88
色/10キー	50
迂回	40
エリアモード	46
エンター	53
オーディオショートカット	16
オーディオメニュー	17、42
音楽CD	54
音楽データ	119
音声	50、52
音声認識	78
音量	13、13

か行

カーソル	22、22、50、53
カーソルパネル	45
カード入れ忘れ案内	92
カード抜き忘れ案内	92
カーブ案内	28
ガイダンス	27
回転	65
各種切換	50
カスタムアップデート	60
冠水注意ポイント	21
冠水注意ポイント表示	88
キー操作音	93
機器登録	70
気象・災害情報表示	34
規制	29
季節規制考慮	27
逆走注意アラーム	25、89
休憩メッセージ案内	90
携帯電話切換	74
経由地マーク	23
県域	44
現在地画面	22
交差点拡大図の表示	89
交差点情報の表示	89
交差点情報表示	22、23
後席用モニター	84
高速レーン減少案内	28
交通情報	47
合流案内	28

ここに行く	33、37、39
-------	----------

さ行

サーチ	51、53
再生時間	50、52
再生モード	54、55、56、59、64、68
再生リスト	66
残距離 / 到着時刻表示	23
残距離 / 到着時刻を表示	88
市街地図での冠水注意ポイント表示	88
市街地図での盗難多発地点表示案内	93
時間規制道路を考慮	91
事故多発地点	21
事故多発地点案内	28
自転車位置	12
自転車マーク	21、28
システムの設定	93
施設詳細	33
施設名	22
自宅を登録	15
指定方向外禁止案内	28
自動再探索	91
自動録音	57
字幕	50、50、52
ジャケット写真	64、121
車種を設定する	14
シャッフル	68
主/副	50
住所	38
渋滞回避	27
渋滞・混雑	29
渋滞情報	34
渋滞情報保存時間設定	91
渋滞なし	29
周波数	46
周辺検索	33
縮尺	30
縮尺表示	21
出荷状態に戻す	94
手動録音	57
受話音量	74
消音	13
詳細条件	91
情報・設定メニュー	18
情報点滅	29
BLUETOOTH接続状態	21
情報バー	21
情報バー表示設定	88
情報メニュー	18
新旧ルート比較画面を表示	91
信号情報活用運転支援システム	84
数字パネル	45
スキャン	54、55、59、64
スクロール	29
スタイル切換	51
ストラダチューン	27
スマートIC考慮	27
スマホ連携	72、75、77、77
スマホ連携アプリ選択	72
スライドショー	65
スロー再生	50、53
制限速度案内	28

静止画	65	ドライブレコーダー	86
静止画データ	121	トンネル出口案内	90
セキュリティ	20、93		
セキュリティ設定	93		
接続確認案内	71		
設定	22		
選局	46		
全曲録音	57		
選択曲録音	57		
専用レーン案内	90		
走行軌跡	89		
送話音量	74		
ゾーン30	21		
その他設定	88、93		

た行

タイトルメニュー	51
タイトルリスト	49、51
ダイヤル	74
ダイレクトボタン	87
立寄る	33
探索条件	40
地域	44
地図SDHCメモリーカード	83
地図色	28、28
地図色設定	88
地図画面	21
地図更新	82
地図上に表示されるVICS情報(レベル3)	33
地図情報を表示	88
地図モード	87
地図モード画面	22
地点登録	33
地点編集	33
地点メニュー	33
地点を登録する	41
着信音量	73
駐車場	29
駐車場マーク	34
昼夜切換	88
ツートップメニュー	16
続き再生解除	49、52
停止	49、52
ディスク	47、114
データベース再検索	60
データ放送	45
テナント情報	33
デュアルウィンドウ	32
デュアルウィンドウ中の案内割込み	89
デュアルウィンドウを表示	88
テレビ	44
テレビの初期設定	44
電話に出る	73
電話を切る	73
動画	66
動画データ	122
統計情報	29
到着予想	91
盗難多発地点	21
盗難多発地点 音声案内	93
盗難多発地点 表示案内	93
登録地	41
登録地を表示	88
登録データの初期化	94
トーン	74
時計表示	88
トップメニュー	49、51

な行

ナビ案内音量	13
ナビ設定	87
入力履歴の初期化	94
ノースアップ	31

は行

ハイウェイモード	32
ハイウェイモードの表示	89
背景色	19
早送り	64
早送り・早戻し	50、53、54
早送り・早戻しする	55、56、59
早送り・早戻し	66、68
範囲	29
ハンズフリー	73
ビーコン受信音	91
ビーコン割込み	91
ビーコン割込み設定	91
微調整	22、30
ビデオカメラ	86
1つ前の画面に戻る	53
標高地図色	88
標高地図を表示	87
標識拡大表示	28
フェリーを優先	91
フォルダ	55、64
吹き出し表示	21
吹き出しを表示	87
副映像	51
踏切案内	28
プリセット選局	46
プリセットメモリー	46
プレイリスト	49、51
分岐案内頻度	28
ヘディングアップ	31
方位マーク	31
方面看板の表示	89
方位マーク	21
ボタン移動	49
ポップアップメニュー	49
保留	73

ま行

マップ	28
マップコード	22、127
右画面に地図表示	87
右画面用地図設定	87
右画面を表示	32
道幅優先	27
ミュート	13、74
名称	38
名称の文字サイズ	87
メイン画面用地図設定	87
モード切換	64、65、66
目的地ショートカット	16
目的地方向直線表示	23
目的地方向を表示	89
目的地マーク	23
目的地メニュー	17、36
文字サイズ	28

や行	
ユーザーカスタマイズ	21
ユーザー名を設定する	15
ユーザーを切り換える	15
郵便番号	44
有料道	29
有料道速度超過警告	28
有料道路優先	27

ら行	
ライト点灯案内	28
ラジオ	46
ランダム	54、55、56、59、64
ランチャーメニュー	26
ランドマーク	21
リアビューカメラ	85
リアビューカメラの設定をする	85
リアル3D表示	89
リジューム	51、52
リターン	53
立体ランドマーク	21
リピート	54、55、56、59、64、68
ルート	27
ルート学習	27
ルート学習結果の初期化	94
ルート情報	32
ルート情報の表示	89
ルートの全表示	89
ルートを編集	39
ローカルアップデート	60
録音	57
録音設定	57

数字・記号・アルファベット	
10キー	53
3D	31
3D視角調整	87
50 m市街地図表示	88
5ルート	33
AAC	63
AUDIO OFF	43
AUDIO ON	43
Audio画面中の案内割込み	89
AUDIO情報を表示	88
AVCHD	114
AVCREC	114
BDAV	114
BDMV	114
BLUETOOTH Audio	56
BLUETOOTH	70、123
CarAV remote	77
DISC EJECT	47
Drive P@ss	75、77
DVD-Video	51
DVD-VR	51
ecoドライブ	81
ETC2.0アップリンク	92
ETC2.0自動音声再生	92
ETC2.0車載器	84
ETC2.0受信音	92
ETC2.0設定	92
ETC2.0割込み	92
ETC音声ガイド	92
ETCレーンの表示	89

EWS (緊急情報)の割込み	90
FM/AM	46
Gracenote	60
gracenote	61
HDMI	86
iPod	67
iPod抜き忘れ案内	93
JCTビューの表示	89
LAUNCHER	26
MAPCODEを表示	88
MEMORY MUSIC	59
microSDメモリーカード	48
MP3	55、63
NaviCon	77
OPEN	47、48
SA/PAマーク	34
SDカードの初期化	94
SDメモリーカード	62、118
TILT	14
TVの初期化	94
USBメモリー	62、118
VICS WIDE	29
VICS案内	90
VICS考慮	27
VICS自動再探索	91
VICS情報マーク	35
VICS タイムスタンプ	21、33
VTR	86
WMA	55、63

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
 - Microsoft、Windows、Windows Automotive、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
 - 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
 - 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
 - ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
 - DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS、Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよびDTSとシンボルマークとの複合ロゴはDTS、Inc.の登録商標です。DTS 2.0+Digital OutはDTS、Inc.の商標です。SRS CS Autoは、DTS、LLCの商標です。© DTS、Inc.無断複写・転載を禁じます。
 - SDHC、SDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
 - BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
 - “DVD Logo”は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
 - Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-Live™、BDXL™、Ultra HD Blu-ray™、AVCREC™及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
 - OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
 - “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
 - HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator、Inc.の商標または登録商標です。
 - MHLは、MHL、LLCの登録商標です。
 - “ゼンリン”および“ZENRIN”は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
 - タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
 - 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
 - NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
 - Google、AndroidはGoogle LLCの商標です。
 - Wi-Fi®は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
 - 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA、L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iPod nano and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]

〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

パナソニック株式会社 オートモーティブ社 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

• RSA Data Security's MD5 License

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

- **Independent JPEG Group's License**

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- **Apache License 2.0**

This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

- **OpenSSL License**

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)

- **Bitstream Vera Fonts**

Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words " Bitstream" or the word " Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the " Bitstream Vera " names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

- **libtiff License**

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- **MIT License**

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **zlib License**

Please be noted that this software is altered from TinyXML, 2.5.3.
Please be noted that this software is altered from zlib, 1.2.8.

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html>

■前記(2)に分類されるソフトウェアには、Oracle Java MEが含まれています。
このソフトウェアのユーザーを規定する契約条件については、以下のURLをご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03/oracle_licence.htm

Oracle Java MEエンドユーザー使用許諾契約書(END USER LICENSE AGREEMENT)

BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("Agreement") CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY BINDING CONTRACT BETWEEN END USER ("you") AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONS THAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the "program") IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

- (1) **Java Technology Restrictions.** You are prohibited from creating, modifying, changing the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as "Java", "Javax", "Sun" or similar convention as specified by Oracle in any naming convention designation.
- (2) **Trademarks and Logos.** You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademark and all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke ("Java Marks") and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at <http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html>; (b) not do anything harmful to or inconsistent with Oracle's rights in the Java Marks; and (c) assist Oracle in protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you in any Java Mark.
- (3) **Third Party Code.** You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

=====

COMPONENTS

=====

The following software (or certain identified files distributed with the software) may be included in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this file is licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright notices provided are based on information made available to Oracle by the third party licensors listed.

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities <http://www.acme.com/java/>

AES

Cryptix General License
Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DES

DesCipher - the DES encryption method

@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:
Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted, provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES.

THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ONLINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE ("HIGH RISK ACTIVITIES"). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:

Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
<http://www.acme.com/java/>

JPEG library

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:

Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.

@@ Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

- 1.The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- 2.Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- 3.This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4)Others.

- (i)You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.
- (ii)You agree not to rely on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5)ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective. Panasonic's failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

- Gracenote、Gracenoteロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote”ロゴは、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

仕様

	CN-RX06D	CN-RX06WD
電源		
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース	
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)	
液晶ディスプレイ		
画面寸法 (幅×高さ×対角)	7V 型ワイド 157 mm×82 mm×177 mm	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	1 152 000 画素 (縦 480×横 800×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	静電容量方式	
アンプ		
定格出力	18 W×4	
最大出力	50 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 ~ 8 Ω 使用可能)	
接続端子		
ビデオ入力レベル	映像 : NTSC 方式 1.0 Vp-p (75 Ω 3.5φ 4 極ミニジャック) 音声 : ステレオ 2.0 Vrms MAX (3.5φ 4 極ミニジャック)	
カメラ入力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)	
ビデオ出力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)	
オプションカメラ入力	映像 : NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)	
サブウーファー出力電圧	1.0 Vrms (Vol MAX)	
HDMI 入力	<ul style="list-style-type: none"> ・ HDMI 端子 : 1 系統 (19 ピン typeA 端子) ・ 映像信号 : 720p, 1080i, 480p (16:9, 4:3) Field Rate : 59.94 Hz, 60 Hz ・ 音声信号 : リニア PCM (最大 2 ch, サンプリング周波数 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz) 	
HDMI 出力	<ul style="list-style-type: none"> ・ HDMI 端子 : 1 系統 (19 ピン typeA 端子) ・ 映像信号 : 480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p (60p/50p) ・ 音声信号 : リニア PCM, Bitstream 	
ナビゲーションユニット		
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	178 mm×100 mm×185 mm (取付奥行寸法 165 mm)	206 mm×104 mm×176 mm (取付奥行寸法 161 mm)
質量	約 2.7 kg	
動作温度	-10 °C ~ +60 °C	
ブルーレイディスクプレーヤー		
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC 方式 1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	5 Hz ~ 22 kHz (サンプリング周波数 48 kHz)	
信号対雑音比 (SN 比)	90 dB (IHF, A)	
ワウ・フラッター	測定限界以下	

FM チューナー	
受信周波数	76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度 (SN 比、30 dB)	15 dB μ V以下
SN 比 (入力 54 dB μ V)	50 dB 以上
ステレオ分離度 (入力 60 dB μ V)	35 dB
AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (SN 比、20 dB)	37 dB μ V 以下
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13CH ~ 52CH)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 100 mA
BLUETOOTH	
通信周波数	2 402 MHz ~ 2 480 MHz
RF 出力	-4 dBm (0.4 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
GPS アンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	26 mm × 14 mm × 30 mm
質量	約 50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/A コード)
受信可能衛星	GPS、QZSS (準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ)	118 mm × 81 mm
質量	約 170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω
マイク	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (直径 × 奥行き)	ϕ 11.6 mm × 35.9 mm
質量	約 32 g (コード含む)

- 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理をされるときは

「困ったとき」(P.96)でご確認のあと、な
おらないときは、まず電源を切り、お買い上
げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	SDカーナビステーション
品 番	お買い上げ製品の品番に チェックしてください。 <input type="checkbox"/> CN-RX06D <input type="checkbox"/> CN-RX06WD
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

「パナソニック お客様ご相談センター」へ→P.146

- 修理に関するご相談は…

お近くの「サービスご相談窓口」へ →P.145

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

？ 使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話  フリーダイヤル ゴー パナソニック
0120-50-8729
 ■上記番号をご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)
 受付時間 9:00～18:00 (年中無休)

FAX (有料) **045-938-1573**
 受付時間 9:00～18:00
 (土・日・祝日・当社休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ)
 メールでのお問い合わせ
panasonic.jp/car/navi/faq 

🔧 修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(P.145) へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

<p>製造番号 (Serial No.)</p>	<p>万一の故障や盗難時に必要です。同梱の製造番号控え、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板上で、9桁の番号をご確認ください。</p> <p>()</p>
<p>固有番号 (ナビID)</p>	<p>製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「システム情報」(P.18)で、番号をご確認ください。</p> <p>()</p>

パナソニック株式会社
 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2019